

ゆうだい21栽培技術情報 第1号

令和6年4月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

良い苗を植え、初期莖数をとることが、品質の向上や安定した収量の確保につながります。そのため、以下のことに取り組みましょう。

- 健苗育成(育苗日数 20~23 日で老化苗の防止)
- 適正な田植え(栽植株数 70 株/坪、植付本数3~4本/株、植付深さ3cm)
- 適切な水管理(田植後3日間はやや深水、田植後4日以降は3cm程度の浅水管理)
- 適期の雑草防除(除草剤は遅れずに散布し、除草効果の向上と薬害の回避)

1 健苗育成

【育苗管理】

- ・健苗育成のため、育苗日数が20~23日程度となるように計画的に播種を行いましょう。
- ・苗が徒長しやすいので、育苗ハウス内の温度が25℃以下になるよう、換気を徹底するとともに、かん水量が多くなるように注意しましょう。
- ・日射が強く高温の場合は、搬出直後でも換気しましょう。
- ・田植1週間前からは、夜間もハウスを開けましょう。ただし、夜間の気温が5℃以下となることが予想される場合はハウスを早めに閉めて保温に努めましょう。

育苗計画の目安

浸種開始	播種日	田植日	育苗日数
3/31	4/12	5/5	23日
4/7	4/19	5/10	21日

令和6年用種子は登熟期間の高温により休眠がやや深く、芽のそろいがばらつく傾向があることから、平年に比べ浸種を1~2日程長くする(浸種積算温度の目安:水温×日数=積算温度 120℃とする)

ハウスは天気予報が晴れなら早朝から換気!



2 適切な田植作業の実施

【施肥量】

- ・基肥は、適正な施肥量を施用しましょう(表1)。

【田植作業】

(1) 田植えは5/5頃中心

- ・田植時期が遅れると単収が下がる傾向があるため5月5日頃中心に田植えを行いましょう(図1)。

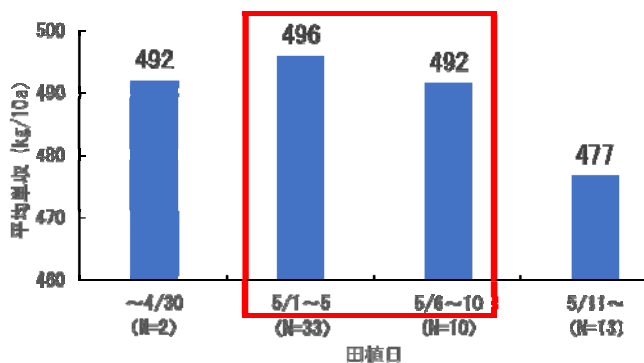


図1 田植時期と出荷単収(※R5栽培日誌より)

表1 施肥量の目安

土壌条件	肥料名	施肥量 (kg/10a)
砂質浅耕土	ゆうだい 21 専用	40
砂壤土		35
壤土		30

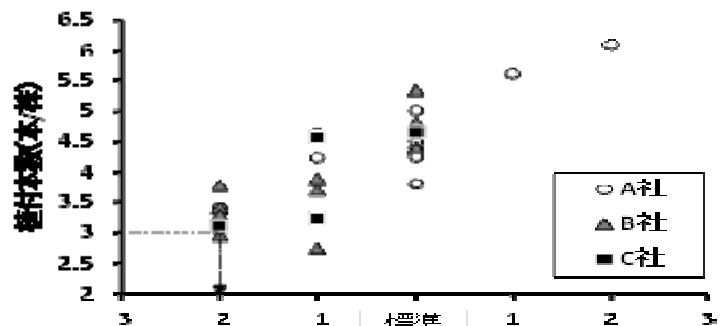


図2 田植機の搔取り量の設定と植付本数(実測値)の関係

(2) 栽植株数 70 株/坪

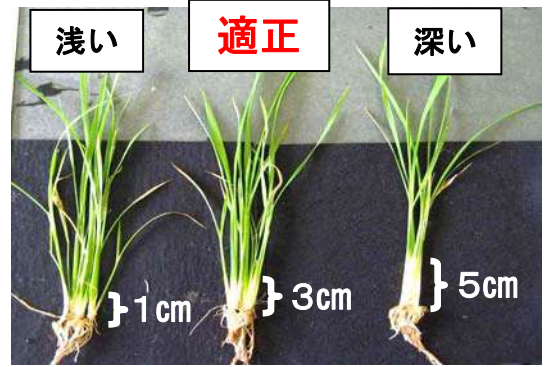
- ・ゆうだい 21 は穂数を取りにくい品種です。穂数を確保するためには、栽植株数を高める必要があります。そのため、栽植株数は 70 株/坪植えにしましょう。

(3) 植付本数は、1株当たり3~4本

- ・植付本数が多いと分けつが過剰となり、茎が細く弱勢な穂となるため、倒伏や登熟不良の原因となります。そのため、植付本数は1株当たり3~4本となるように設定しましょう。
- ・田植機の搔取り量設定が「標準」では植付本数が多くなる傾向があります(図2)。搔き取り量は「標準」よりも「少なく」設定し、目標の植付本数となるよう、田植時に確認しましょう。

(4) 植付深さ3cm 程度

- ・植付けが深くなると、初期分げつの発生が抑えられ、茎数が少なくなります。逆に植付けが浅いと、除草剤による薬害を受けやすく初期生育の抑制につながります。そのため、**植付深さは3cm 程度**となるように設定しましょう。
- ・植付深さは、田植機の設定を「標準」よりも「浅く」とすると目標に近づきます。



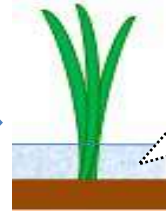
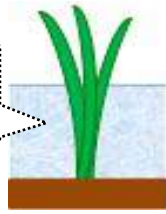
3 初期の水管理

- ・田植後3日間はやや深水にして活着を促進し、活着後(田植後4日以降)は浅水管理により水温の上昇に努め、分げつの発生を促進しましょう。

<水管理のイメージ>

(田植後4日以降)

田植後3日間は
やや深水管理
(水深5~6cm)



活着後は
3cm程度の
浅水管理

【浅水管理の留意点】

- ・入水は朝夕の短時間で行い、日中は水温・地温を上昇させるため止め水にしましょう。
- ・低温時や強風時はやや深水の管理で苗を保護し、天気回復後は速やかに浅水管理に戻しましょう。

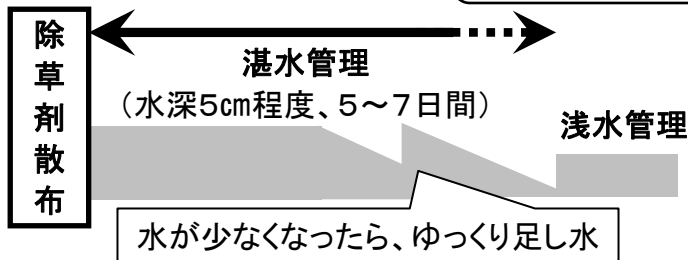
4 雑草防除の徹底

※除草剤の体系例は、水稻営農技術情報 第2号をご確認ください。

- ・除草剤の散布後5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は止水管理としましょう。
- ・除草剤をしっかりと効かせるには、散布後に**土壌表面に作られた薬剤の処理層を壊さないよう水管理を徹底**しましょう。
- ・除草剤により使用時期が異なります。必ず使用前にラベルを確認しましょう。

【除草剤散布時の水管理】

※散布後7日間は落水や
かけ流しをしない



田面が露出すると除草剤の
処理層が壊れて、雑草が発
生する原因になります。

- ・近年は、田植後に高温となる場合が多く、雑草の生育が早くなっています。代かきから田植えまでの期間はあまり長くない(5日以内)とし、遅れずに除草剤を散布しましょう。

令和6年 春の農作業安全運動 3月1日~5月31日

「農作業事故ゼロを目指して事故防止対策を徹底」

あなたも農作業中に「ヒヤリ」とした経験はないですか？

春の農繁期は農作業事故が発生しやすい季節です。

農場や道、用水路など危険箇所を事前に確認し、余裕をもった作業計画を立て、事故を未然に防止する対策を徹底しましょう。



全国でトラクターの転落・転倒事故が多発しています。

富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています

<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> こちらで検索！

JA 富山市 営農情報

検索